

大学院人文社会科学研究科カリキュラム・ポリシー

●地域文化論専攻カリキュラム・ポリシー

世界の各地域の文化を、専門的に深く、かつ学際的・総合的に広く学ぶカリキュラムを用意しています。具体的には、哲学、歴史学、考古学、社会学、文化人類学、地理学、美術史、言語学、文学、図書館・情報学など、様々な専門的領域の研究視点に基づいて学ぶことができます。単位修得基準は合計30単位と修士論文です。単位の内訳について、標準在学コースの場合は必修科目12単位、選択必修科目10単位、自由選択科目8単位、短期在学コースの場合は必修科目8単位、選択必修科目14単位、自由選択科目8単位の修得となります。

－2年間のカリキュラムと研究指導－

●1年生：専門的知識の充実と地域文化の深い理解および国際的視野の拡大

様々な学問領域の専門的な考え方や知識を講義や演習形式で学びながら、「三重の文化と社会Ⅰ」「三重の文化と社会Ⅱ」（選択必修科目）を通じて地域理解の能力を高めます。これと同時に世界の各地域の文化を広く学び、国際的な視野を養います。また、指導教員を中心とする複数の教員による研究指導を通じて、修士論文の構想を練ります。

●2年生：修士論文の作成

高度な専門知識を修得しつつ、さらに学際的・総合的な研究をおこないます。これと同時に2年間の研究を総括し、指導教員を含む複数の教員の指導の下に修士論文を作成し、その成果を修士論文発表会で発表します。修士論文は主査1名、副査2名によって審査されます。また、論文を中心とする最終試験（口答または筆答）で合格した者に、学位が授与されます。

(カリキュラムの図)

標準在学コース			
1年生		2年生	
(前期)	(後期)	(前期)	(後期)
特別研究Ⅰ(必修2単位)	特別研究Ⅱ(必修2単位)	特別研究Ⅲ(必修2単位)	特別研究Ⅳ(必修2単位)
修士論文			
指導教員が指定する特講および演習(必修4単位)			
当該専攻の授業科目(選択必修10単位)			
三重の文化と社会Ⅰ(2単位)	三重の文化と社会Ⅱ(2単位)		
自由選択(8単位)			

短期在学コース	
1年生	
(前期)	(後期)
特別研究Ⅰ(必修2単位)	特別研究Ⅱ(必修2単位)
指導教員が指定する特講および演習(必修4単位)	
当該専攻の授業科目(選択必修14単位)	
三重の文化と社会Ⅰ(2単位)	三重の文化と社会Ⅱ(2単位)
自由選択(8単位)	
修士論文	